Panasonic®

1

取扱説明書　準備と設定ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-S10シリーズ

（Windows 7）

初めにお読みください

本書は、お買い上げ後、初めてWindowsの操作を始めるまでの手順やリカバリーディスクの作成手順、修理を依頼する際のアフターサービス、仕様などについて説明します。
また、このモデルにはWindows® 7 Ultimate がインストールされており、Windows® 7 Ultimateをはじめとするこのモデル独自の機能や異なる内容についても説明しています。
本書および『取扱説明書 基本ガイド』をよくお読みいただき、大切に保管してください。

もくじ

表記について

- 📖 は画面で見るマニュアルのマークです。
- 本書では、「Windows® 7 Ultimate 32ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）」および「Windows® 7 Ultimate 64ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。

1 付属品の確認

付属品が足りなかったり、購入したものと異なったりした場合は、ご相談窓口にご連絡ください（➡26ページ、裏表紙）。

バッテリーパック	ACアダプター	その他
品番：CF-VZSU64AJS	品番：CF-AA6402A	• 電源コード※1 ･･････ 1本 • 保証書 ･･････ 1枚 • 取扱説明書 - 準備と設定ガイド（本書） ･･････ 1冊 - 基本ガイド ･･････ 1冊 - 無線 LAN接続ガイド ･･････ 1冊 • 修理依頼書 ･･････ 1枚

※1 付属の電源コードは、CF-AA6402A以外の製品などに転用しないでください。

• 本機には、『取扱説明書 基本ガイド』などに記載の『取扱説明書 Windows® 7入門ガイド』は付属しておりません。

重 要

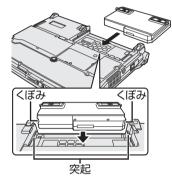
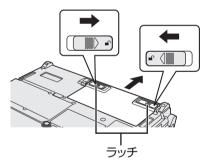
● リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM）は付属していません。
  • 本機のハードディスクには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、通常はこのリカバリーデータを使って、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
    リカバリーディスクの作成を希望される場合は、11ページをご覧ください。

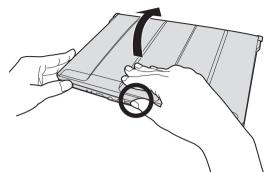
2 バッテリーパックを取り付ける

重 要

- 左右のラッチが正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないでください。
  汚れ、損傷などで接触が悪くなると、充電が正しく行われなかったり、本機が正しく動作しなかったりする場合があります。

本体を裏返し、バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。

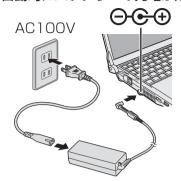
バッテリーパックの左右のくぼみとパソコン本体の突起が合うように挿入してください。

- **バッテリーパックの取り外し方**
  左右のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

3 ディスプレイを開く

パソコンの側面に手を添え、○印の部分を持ってディスプレイを開いてください。

重 要

- ディスプレイを135°以上開けたり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ディスプレイを開閉する際は、右図の○印の部分をお持ちください。液晶部分の端を持って開閉すると、液晶が破損する場合があります。
- ディスプレイを開くときにパソコンが浮く場合は、側面などに手を添えて開いてください。

4 電源を入れる

1 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。

重要

- 本書で説明しているWindowsのセットアップが完了するまで、ACアダプターは抜かないでください。
- バッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

2 電源を入れる

電源スイッチ⏻をスライドし、電源状態表示ランプが点灯したら手を離します。

- 電源スイッチを４秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

重要

- 電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。
- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。
  これらの情報は、万が一ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
  この機能を無効にするには、Windowsのセットアップが終わった後に、PC情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。
  ただし、無効にするとPC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関するお知らせ機能も無効になります。
  詳しくは、Windowsのセットアップが終わった後に、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」および『困ったときのQ&A』「サポート情報 / 使用状況を調べる」の「本機の使用状態を確認したい」をご覧ください。

5 Windowsをセットアップする 所要時間：約20分

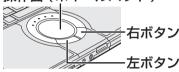
セットアップの前に

Windowsを使用できるようになるまで 、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。

●Windowsのセットアップが完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。セットアップが正しく動作しない場合があります。

ホイールパッドの基本操作

マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。
Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドの操作面と左ボタンを使います。

操作面（ホイールパッド）

機能	操作
ポインターを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック／右クリック	タップ または クリック 右クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら指を移動させる。
縦／横スクロール	下方向／右方向 または 上方向／左方向 ホイールパッドの端から円を描くようになぞる。 横スクロールは、ご使用前に初期設定が必要です。 ➡『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」

重 要

●操作面にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。
●油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。

Windows 7のセットアップ

重 要

電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

1 設定を変更せずに[次へ]をクリック。

2 ユーザー名をキーボードで入力する。

ユーザー名は自由に入力してください。ただし、@、CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1～COM9、LPT1～LPT9は使用できません。
特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもログオン画面でパスワードの入力が求められます。空白でログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンできなくなります。ログオンできない場合は、Windowsの再インストールが必要になります。再インストールの方法については、付属の『取扱説明書 基本ガイド』をご覧ください。

コンピューター名は、ネットワークを使用して複数のパソコンと接続する場合に本機を識別するための名前です。ユーザー名を入力すると、コンピューター名にも「ユーザー名-PC」が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。ネットワークに接続しない場合は、画面に表示された名前を変更する必要はありません。

この画面の設定は後で変更可能

3 [次へ]をクリック。

4 各項目をキーボードで入力する。

パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。

5 [次へ]をクリック。

この画面の設定は後で変更可能

メ モ

- Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力 / 設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

5 Windowsをセットアップする

6 ライセンス条項をよく読む。

7 2か所をクリックして チェックマークを付ける。

8 [次へ] をクリック。

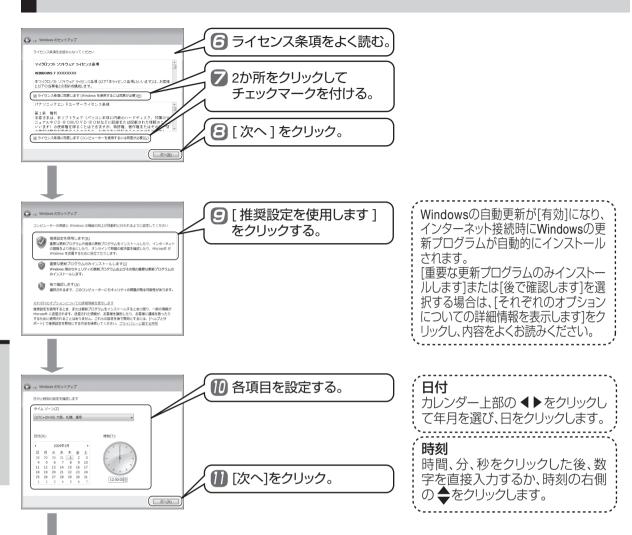
9 [推奨設定を使用します] をクリックする。

Windowsの自動更新が[有効]になり、インターネット接続時にWindowsの更新プログラムが自動的にインストールされます。
[重要な更新プログラムのみインストールします]または[後で確認します]を選択する場合は、[それぞれのオプションについての詳細情報を表示します]をクリックし、内容をよくお読みください。

10 各項目を設定する。

11 [次へ]をクリック。

日付
カレンダー上部の ◀ ▶ をクリックして年月を選び、日をクリックします。

時刻
時間、分、秒をクリックした後、数字を直接入力するか、時刻の右側の ▲▼ をクリックします。

「ようこそ」のメッセージが表示された後に「-- 初期設定を行っています。--」の画面が表示され、各種設定が行われた後、Windowsが起動します。

- 「Internet Explorer 9の設定」画面が表示される場合があります。画面を操作せずにそのままお待ちください。
- 「設定が完了すると自動的に再起動しますので、そのままお待ちください」というメッセージが表示され、各種設定が行われます。Windowsが自動的に再起動するまで、画面などを操作せずにそのままお待ちください。この間、ACアダプターを抜いたり電源を切ったりしないでください。

12 左の画面が表示された場合は、手順4で設定したパスワードを入力して➡をクリックする。

パスワードを設定していない場合やモデルによっては左の画面が表示されない場合があります。

13 リカバリーディスクの作成を希望される場合は、Windowsが起動したら、リカバリーディスクを作成する。（➡11ページ）

メモ

- 本機にはWindows® 7 Ultimateがインストールされています。
  『取扱説明書 基本ガイド』などでは、「Windows® 7 Professional」の説明や画面が使用されていますが、本機のOSは「Windows® 7 Ultimate」です。
  付属の説明書では「Windows® 7 Ultimate」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。
- セキュリティ対策として、ウイルス対策ソフト（マカフィー・PCセキュリティセンターなど）のご利用をお勧めします。詳しくは、『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「ウイルスの感染を防ぐ」をご覧ください。
- 工場出荷時はCD/DVDドライブの電源がオフに設定されているため、[コンピューター]などでCD/DVDドライブが表示されません。CD/DVDドライブの電源をオンにすると、表示されるようになります。
  また、オンにしたとき、通知領域に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示される場合があります。
  CD/DVDドライブの電源をオンにするには、ドライブ電源/オープンスイッチを左にスライドしてください。

Windows 7の設定を変更する

Windowsのセットアップ時にパスワードを設定し忘れた場合や、自動更新の設定を変更したい場合は、セットアップ完了後、次の手順で変更できます。

●パスワードを設定する

次の手順で設定してください。

1. （スタート）-[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックする。

スタート

2. [Windowsパスワードの変更]をクリックする。

3. [アカウントのパスワードの作成]（または[個人用パスワードの変更]）をクリックする。

4. 画面に従ってパスワードをキーボードで入力する。
   パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。

5. パスワードを忘れたときのために、自分だけにわかる、パスワードを思い出すためのヒントを入力する。

6. [パスワードの作成]（または[パスワードの変更]）をクリックする。
7. [×] をクリックし、ウィンドウを閉じる。

パスワードの設定はこれで完了です。

メモ

- Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

5 Windowsをセットアップする

● 自動更新を設定する

「Windows 7のセットアップ」の手順❾（➡8ページ）で［後で確認します］を選択した場合などに行ってください。

自動更新を「有効」にしておくと、インターネット接続時にWindowsの重要な更新プログラム（セキュリティの更新など）が提供されていないか定期的に確認され、自動的にインストールされます。

❶ （スタート）-［コントロールパネル］をクリックし、［システムとセキュリティ］-［アクションセンター］をクリックする。

❷ ［Windows Update］の［設定の変更］をクリックする。

［自動更新］がすでに「有効」になっている場合は、［Windows Update］の項目は表示されません。

❸ ［自動的に更新プログラムをインストールします］をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。
手順❷の画面に戻ります。
［Windows Update］の項目が表示されていないことを確認してください。

❹ をクリックし、表示しているウィンドウをすべて閉じる。

自動更新の設定はこれで完了です。

メモ

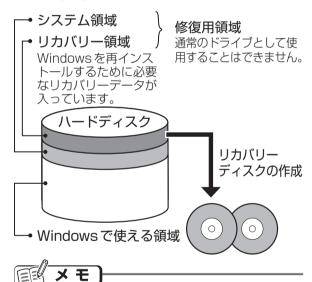
● 自動更新が「有効」になっているときに設定を変更するには、（スタート）-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［自動更新の有効化または無効化］をクリックしてください。

6 リカバリーディスクを作成する

所要時間：約１時間
（DVD-R ８倍速で作成した場合）

リカバリーディスクについて

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりすると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。
本機のハードディスクには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、この領域のデータを使ってハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
また本機には、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。リカバリーディスクの作成を希望される場合は、「リカバリーディスクを作成する」（➡ 12ページ）の手順で作成することができます。

メモ

- ●リカバリーディスクを使って再インストールするよりも、ハードディスクのデータを使った方が、短い時間で再インストールすることができます。

●内蔵のCD/DVD ドライブでリカバリーディスクを作成することができます。

メモ

- ●リカバリーディスク作成後でもハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすることができます。
- ●ハードディスクのバックアップや復元、パーティションの変更などを行うための市販のアプリケーションソフトをインストールしていると、ハードディスクの一部（先頭部分）が書き換わってしまい、リカバリーディスクが作成できない場合があります。
リカバリーディスクは、これらのアプリケーションソフトをインストールする前に作成されることをお勧めします。

使用できるディスクの種類と必要枚数

●使用できるディスクの種類は次の２種類です。

DVD-Rまたは+R（１層）

「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができます。
必ず未使用のディスクを準備してください。

以下のディスクは使えません

- DVD-RW、+RW、DVD-RAM、DVD-R DL（２層）、+R DL（２層）
- Blu-ray Disc
- CD-R、CD-RW

● **必要枚数は、「リカバリーディスクを作成する」の手順⑥の画面に表示されます。画面に表示された枚数を準備してください。**
● **動作確認済み（推奨）のディスクについて**
インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html

リカバリーディスク作成の前に

次の点を確認してください。
● 必ず、ACアダプターを接続してください。
● LANケーブルや周辺機器、SDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
● 自動的に起動するアプリケーションソフトは終了してください。
● 無線LANでネットワークに接続している場合は、無線機能をオフにしてください。
無線切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドして無線機能の電源を切ってください。
● ハードディスクの空き容量が10 GB以上あることを確認してください。空き容量が足りないと作成できません。

リカバリーディスクを作成する

重 要

● DVD-R 8倍速で作成した場合の所要時間は約1時間です（所要時間は、書き込み速度やシステム設定、使用するディスクにより変動します）。
時間に余裕を持って作成してください。
● リカバリーディスクの作成を中断した場合、リカバリーディスク作成ユーティリティが終了するまでしばらく時間がかかります（約10分）。そのままお待ちください。リカバリーディスク作成ユーティリティが終了した後、Windowsを再起動し、最初からやり直して作成してください。
ディスクの書き込み中に中断すると、書き込み中のディスクは使用できなくなります。中断したディスクと同じ種類の未使用の新しいディスクを用意してください。
● 作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。
● 作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。
● リカバリーディスク作成中は次のことを行わないでください。リカバリーディスクが作成できなくなります。
• Windowsの終了や再起動
• スリープ状態 / 休止状態機能の使用
• CD/DVDドライブのドライブ文字の変更

1. ACアダプターを接続する。
2. 管理者のユーザーアカウントでログオンする。
ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効に設定している場合は、次の手順で無効にしてください。
① 画面右下の通知領域の をクリックして をクリックする。
② ［ピークシフト制御を有効にする］をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。
3. 未使用のディスクをセットする。

4 （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

5 画面の注意事項をよく読み、[次へ]をクリックする。

（画面は一例です）

6 作成するOSの種類をクリックし、画面に表示されたディスクの必要枚数を準備して[次へ]をクリックする。

（画面は一例です）

- 選択したOSのリカバリーディスクが作成されます。一度リカバリーディスクの作成が完了すると、Windowsを再インストールするまでリカバリーディスクを作成することはできません。

7 作成するリカバリーディスクにチェックマークが付いていることを確認し、[次へ]をクリックする。

（画面は一例です）

A：リカバリーディスク作成に使用するディスクの種類をクリックします。
　ディスクの種類を間違うと、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。

B：作成するリカバリーディスクの枚数分の項目が表示されます。
- リカバリーディスク作成ユーティリティを初めて起動したときは、すべての項目にチェックマークを付けたままにしてください。

C：作成途中で終了したときなどやり直す場合は、[状態]に現在の作成状況が表示されます。
- [完了しました]と表示されている場合：
  該当のリカバリーディスクの作成が完了しています。
- [失敗の記録があります]と表示されている場合：
  前回途中で終了したため、作成に失敗しています。最初からやり直してください。

リカバリーディスク作成の準備が始まります。そのままお待ちください。準備が終わると、「リカバリーディスク#1の書き込み」画面が表示されます。

8 書き込み速度を選び、[OK]をクリックする。

- ディスクの作成準備やディスクのチェックに時間がかかる場合があります。（10分～ 20分）
- ディスクへの書き込みが始まり、作成しているディスクの番号と作成状況が画面に表示されます。そのままお待ちください。CD/DVDドライブからディスクを取り出したり、パソコンに振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 書き込みを中断したり、キャンセルしたりした場合は、同じ種類の未使用のディスクを使って再度作成してください。

6 リカバリーディスクを作成する

9 「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。

- ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。
- レーベルに記入する内容（一例）
  - ディスクの名前：リカバリーディスク
  - ディスクの番号（何枚中の何枚目）：「2枚中の1枚目」や「1/2枚」など、何番目のディスクかわかる内容を記入してください。必要枚数はモデルによって異なります。
  - 本機の品番：「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面または本体底面に記載されている「CF-」で始まる文字（例：CF-S10TYUUPなど）

10 [OK]をクリックする。

- ディスクのセットを促す画面が表示されたら、1枚目と同じ種類の未使用のディスクをセットして[OK]をクリックします。「リカバリーディスク#... の書き込み」画面で[OK]をクリックし、画面に従ってすべてのリカバリーディスクを作成してください。
  - 1枚目と異なる種類のディスクをセットすると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。1枚目と同じ種類のディスクを使用してください。

11 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面で、[OK]をクリックする。

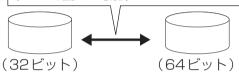
これでリカバリーディスクの作成は終了です。
作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。

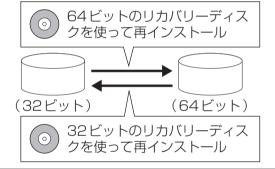
メモ

● 手順**6**で選択したOSのリカバリーディスクが作成されます。
ハードディスクにインストールされているWindows 7の32ビットと64ビットを切り替えるには、次の方法があります。

- ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使ってWindowsを再インストールする。

ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストール（OSの選択が可能）

（32ビット）　（64ビット）

- インストールするOSと同じOSのリカバリーディスクを使ってWindowsを再インストールする。

リカバリーディスクのQ&A

質　問	対　策
リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない	**管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンし直してください。** 標準ユーザーではリカバリーディスク作成ユーティリティを起動することができません。それでもリカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない場合は、Windowsを再起動してください。
	別のユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを起動している場合は、どちらかのユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを終了してください。 リカバリーディスク作成ユーティリティは、複数のユーザーが同時に使用することはできません。
	ハードディスクの空き容量を確認してください。 リカバリーディスクを作成するには、ハードディスクに約10 GBの空き容量が必要です。
	「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。(➡16ページ) ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されていたり、ハードディスクに何らかの問題が発生している場合があります。
	リカバリーディスクの作成が完了している場合があります。 作成済みか確認するには、PC情報ビューアーを起動し、[PC使用状況]の[リカバリーディスク作成]をご覧ください。[作成済み]と表示されている場合は作成が完了しています。Windowsを再インストールするまでリカバリーディスク作成ユーティリティを使うことはできません。
リカバリーディスクの作成に失敗した	**動作確認済み(推奨)のディスクがセットされていることを確認してください。** 動作確認済み(推奨)のディスクについては、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。 推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。 http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html
	ディスクが正しくセットされているか確認してください。 ディスクの中心部をカチッと音がするまで押してしっかりとセットしてください。
	レンズやディスクが汚れていたり、ディスクが変形したりしていないか確認してください。 • 汚れている場合は、レンズやディスクのクリーニングを行ってください。詳しくは、『操作マニュアル』「(CD/DVDドライブ)」の「使用上のお願い」をご覧ください。 • 変形している場合は、新しいディスクに交換し、作成し直してください。

エラーメッセージ一覧

リカバリーディスク作成中にエラーメッセージが表示された場合は、各画面で[OK]をクリックし、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>対 処</th></tr>
<tr><td>リカバリー領域の読み込みに失敗しました</td><td>ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されています。または、ハードディスクに何らかの問題が発生しています。
• Windowsを再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成してみてください。
再度エラーメッセージが表示される場合は、次の手順でリカバリー領域が削除されていないか確認してください。
リカバリー領域の確認方法
① (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。
② [管理]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
③ [ディスクの管理]をクリックし、[回復パーティション]が表示されていることを確認する。
1つ目の[回復パーティション]がリカバリー領域です。<table><tr><td>回復パーティション</td><td>アクティブ、回復パーティション</td><td>(C:)</td></tr></table>上記と異なるハードディスク構成の場合は、リカバリーディスクを作成することができません。
• ハードディスク内にリカバリー領域がある場合は、PC-Diagnosticユーティリティで[HDD xxxGB](ハードディスク)の診断を行ってください。(➡『取扱説明書 基本ガイド』「ハードウェアを診断する」)</td></tr>
<tr><td>イメージファイルの作成に失敗しました</td><td>ハードディスク内にあるリカバリー領域が壊れています。
• 上記の「リカバリー領域の確認方法」に従って、リカバリー領域を確認してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込みに失敗しました</td><td>書き込みに失敗しています。
• ディスクの書き込み中に失敗した場合は、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクをセットしてください。
• ディスクの書き込み中は、CD/DVDドライブに振動を加えないでください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込み中にDVDドライブが取り外されました</td><td>リカバリーディスクの作成中にCD/DVDドライブのドライブ文字を変更した可能性があります。</td></tr>
</table>

キーボードについて

本機には、英語キーボード（US配列）が搭載されています。
『取扱説明書 基本ガイド』や『操作マニュアル』などでは、キーボードのイラストおよび各キーの配列が実際のキーボードと異なります。また、次の項目は、これらの説明書に記載の操作と異なります。

- 本機に右側のCtrlキーはありません。

Fnキーを使う

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーなどを押すと、次の表のような機能が働きます。

キー	機能	画面表示
Fn＋F1 Fn＋F2	内部LCDの明るさを調整します。 Fn＋F1（暗くする）/ Fn＋F2（明るくする）	
Fn＋F3 または ⊞＋P （Windows起動後）	キーを押すと右の画面が表示され、外部ディスプレイを接続している場合は画面の表示モードを切り替えることができます（Fn＋F3を押して表示モードを選んだ後、Enterを押すまで切り替わらない場合があります）。3つのディスプレイに画面を同時表示することはできません。	外部ディスプレイに画面を表示している場合は[プロジェクターの切断]と表示されます。
Fn＋F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。ビープ音が鳴る設定に変更していても、音声出力をオフにするとビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ（ミュート）
Fn＋F5 Fn＋F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn＋F5（小さくする）/ Fn＋F6（大きくする）	
Fn＋F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	–
Fn＋F8	プロジェクターヘルパーを使って保存した画面の設定（表示モードと画面の解像度やリフレッシュレートなど）を復元します。表示された「プロジェクターヘルパー」画面で復元する設定を選び、[OK]をクリックしてください。	–
Fn＋F9	バッテリーの残量を表示します。	バッテリーパック装着時（表示は一例です。） バッテリーパック未装着時 バッテリーのエコノミーモード（ECO）が有効時（右上にが表示されます）（表示は一例です。）
Fn＋F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	–
Fn＋NumLk	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（ScrLk）	–
Fn＋Home	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動（End）	–
Fn＋↑	前のページに移動（PgUp）	–
Fn＋↓	次のページに移動（PgDn）	–

Caps Lockキーを使う

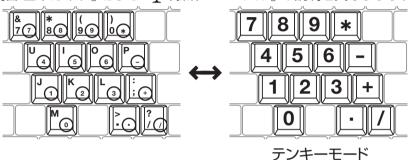
アルファベットを大文字で入力する場合は、Caps Lockを押してください。Shiftを押しながらCaps Lockを押す必要はありません。

NumLkキーを使う

NumLkを押すと1が点灯し、下図のようにキーボード上の数字または演算記号が入力できます。キーの配列が『取扱説明書 基本ガイド』および『操作マニュアル』の説明と異なります。

日本語を入力する

1 Altを押しながらキーボード左上のを押す。

言語バーに「あ」が表示されます。

「あ」が表示されない場合は[入力モード]をクリックし、[ひらがな]をクリックしてください。

2 文字を入力し、（スペースキー）を押して文字を変換する。

言語の変更

表示言語の変更

次の手順でWindowsのメニューなどの表示言語を変更することができます。
Windows 7 Language Packsの中から表示言語をインストール済みの場合は、手順⑩から行ってください。
変更されるのは、Windowsのメニューやダイアログボックスのみです。Windows起動時のメッセージ、デスクトップのアイコンのタイトルや一部のアプリケーションソフト名などは日本語表示のままになります。

1 **インターネットに接続できる状態にし、(スタート)-[コントロールパネル]-[時計、言語、および地域]-[日付と時刻の設定]をクリックして日付と時刻が正しいことを確認する。**

2 **(スタート)-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックする。**

3 **[xx個のオプションの更新プログラムが利用可能です]をクリックする。**
[xx個のオプションの更新プログラムが利用可能です]が表示されていない場合は、[更新プログラムの確認]をクリックし、[xx個のオプションの更新プログラムが利用可能です]をクリックしてください。
途中で画面が閉じてしまった場合は、再度手順②から行ってください。

4 **[Windows 7 Language Packs]の中からインストールする言語をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

5 **[更新プログラムのインストール]をクリックする。**

6 **画面の指示に従ってインストールする。**

7 **[今すぐ再起動]が表示されている場合は、[今すぐ再起動]をクリックする。**
[今すぐ再起動]が表示されていない場合は、(スタート)-[シャットダウン]をクリックしてWindowsを再起動してください。

8 **再起動後、再度Windows Updateを行ってWindowsを最新の状態にする。**

9 **[更新履歴の表示]をクリックし、[成功]が表示されていることを確認し、[OK]をクリックする。**
[失敗]が表示されている場合は、再度手順③から行ってください。

10 **インストールが完了したら、(スタート)-[コントロールパネル]-[表示言語の変更]をクリックする。**

11 **[表示言語を選んでください]の▼をクリックし、言語をクリックして[OK]をクリックする。**

12 **[今すぐログオフ]をクリックしてWindowsをログオフする。**

言語の変更

日本語を入力する

他の言語をインストールした場合は、次の手順で既定の言語を日本語に切り替えると、日本語が入力できます。

1 **Alt ＋ Shift を押す。**

日本語に切り替わります。
複数の言語をインストールしている場合は、日本語に切り替わるまで繰り返し Alt ＋ Shift を押してください。

また、言語バーの入力言語ボタンをクリックし、日本語をクリックして切り替えることもできます。

2 **Alt を押しながらキーボード左上の □ を押す。**

言語バーに「あ」が表示されます。

「あ」が表示されない場合は[入力モード]をクリックし、[ひらがな]をクリックしてください。

3 **文字を入力し、［　　　］（スペースキー）を押して文字を変換する。**

アプリケーションソフトの言語を切り替える

● 次のアプリケーションソフトは、Windowsの表示言語を英語表示に切り替えた後に起動すると、アプリケーションソフトの表示言語も英語表示に切り替わります。アプリケーションソフトによっては英語以外の言語にも対応している場合があります。また、一部日本語で表示される場合があります。

- 無線切り替えユーティリティ
- Infineon TPM Professional Package V3.7
- バッテリー残量表示補正ユーティリティ
- ホイールパッドユーティリティ
- Hotkey設定
- Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ
- 電源プラン拡張ユーティリティ
- Roxio Creator LJB（MyDVD含む）
  （Windowsの表示言語を日本語表示にし、Roxio Creator LJBを起動して使用許諾契約の条項に同意しておく必要があります）
- CyberLink PowerDVD 10
- USBキーボードヘルパー
- インテル® WiDiソフトウェア
- ズームビューアー
- ぴったりビュー
- クイックブートマネージャー
- オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ
- PC情報ポップアップ
- PC情報ビューアー
- リカバリーディスク作成ユーティリティ
- インテル® My WiFiテクノロジー

● 次のアプリケーションソフトの表示言語を切り替えることはできません。

- 緑のgooスティック
- ネットセレクター 2
- セキュリティ設定ユーティリティ
- マカフィー・PCセキュリティセンター
- 「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版
- Adobe Reader
- WinZip 14.5日本語版
- NumLockお知らせ
- ATOK for Windows無償試用版
- キングソフト辞書
- ピークシフト制御ユーティリティ
- プロジェクターヘルパー
- ディスプレイヘルパー
- Wireless Manager mobile edition 5.5
- インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー
- VIP Access for Desktop

セットアップユーティリティについて

工場出荷時の言語設定

英語に設定されています。
『取扱説明書 基本ガイド』や『操作マニュアル』の「セットアップユーティリティ」では、「情報」メニューの「言語（Language）」の「Japanese」に工場出荷時の設定を表すアンダーラインが付いていますが、本機は「English」が工場出荷時の設定です。

言語の切り替え

付属の説明書では、「言語（Language）」を「日本語（Japanese）」に設定した場合の操作で説明しています。
次の手順でセットアップユーティリティの言語を日本語に変更することができます。

1. **本機の電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。**
2. **本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押す。**
   「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
3. **「Information」メニューの「Language」を選び、Enter を押す。**
4. **↑ ↓ で[Japanese]を選び、Enter を押す。**

設定項目について

以下の項目が付属の説明書の記載と異なります。

● **「Information」メニューの表示**
次の項目が表示されます。
- BIOS Configuration
- Accumulative Operating Time

● **「Main」メニューの表示**
次の項目が表示されます。
- Optional Kit Configuration（本機では使用できません）

● **「Advanced」メニューの表示**
次の項目が表示されます。
- HDD Controller Setting

[CPU設定]では次の項目は表示されません。
- Intel(R) VT-d
- Intel(R) Trusted Execution Technology
- Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0

● **「Security」メニューの表示**
次の項目は表示されません。
- AMT設定

別売り商品

品　　名	ご注文時の品番	対　　応※1
ACアダプター （電源コード付き）	CF-AA6402AJS	◎
バッテリーパック※2	CF-VZSU64AJS（シルバー） （軽量バッテリーパック： 公称容量6.8 Ah）	◎
	CF-VZSU61AJS（シルバー） （バッテリーパック：公称容量13.6 Ah）	○
RAMモジュール	CF-BAD02GU（2 GB※3）	○
	CF-BAD04GU（4 GB※3）	○
外部FDD（USB接続外付け3.5型3モード対応） （1.44 MB※4/1.2 MB※4/720 KB※5）※6	CF-VFDU03U	○
プライバシーフィルター※2	CF-VPS01JS	○

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。
※1　表中の記号は次のとおりです。
　　◎：対応 (パソコン本体の付属品と同等品)
　　○：対応
※2　消耗品
※3　1 MB＝1,048,576バイト、1GB＝1,073,741,824バイト
※4　1 MB＝1,024,000バイト
　　OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でMB表示される場合があります。
※5　1 KB＝1,024バイト
※6　1.2 MBと720 KBは読み書き可能／フォーマット不可

パナソニックグループのショッピングサイト「My Let's 倶楽部」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「My Let's 倶楽部」のWebページ（http://club.panasonic.jp/mall/mylets/open/）をご確認ください。

仕様 日本国内専用

●本体仕様

品番		CF-S10TYUUP
CPU		インテル® Core™ i3-2330Mプロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 3MB※1、動作周波数 2.20 GHz）
チップセット		モバイルインテル® HM65 Expressチップセット
グラフィックアクセラレーター		インテル® HD グラフィックス3000（インテル® Core™ i3-2330M プロセッサーに内蔵）
ハードディスクドライブ※2		500 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）
Bluetooth		搭載されていません
キーボード/ポインティングデバイス		英語キーボード（US配列 /83キー）、キーピッチ: 19 mm（横）/ 16 mm（縦）（一部キーを除く）/ホイールパッド
バッテリーパック		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量 6.8 Ah/定格容量 6.4 Ah
バッテリー駆動時間※3		• 付属の軽量バッテリーパック装着時： 約8時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時） • 別売りのバッテリーパック装着時： 約16.5時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）
質量※4	パソコン本体	約1.18 kg（付属の軽量バッテリーパック（約0.255 kg）装着時）
OS※5	ベースOS	Windows® 7 Ultimate 32ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）/ Windows® 7 Ultimate 64ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版） （Windows XP Mode搭載）
	インストールOS	Windows® 7 Ultimate 64ビット正規版（ Service Pack 1適用済み）（ 日本語版） （Windows XP Mode搭載）
上記以外		CF-S10EYADRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）

※1　1 MB＝1,048,576バイト。
※2　1 MB＝1,000,000バイト。1 GB＝1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。
※3　「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。
※4　平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
※5　ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすると、インストールするOS（Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット））を選ぶことができます。お買い上げ時にインストールされているOS、ハードディスクリカバリー機能またはリカバリーディスクを使ってインストールしたOSのみサポートします。

- インテル® アンチセフト・テクノロジーおよびインテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー（インテル® IPT）をお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使い方・お手入れなどは…

■「お客様ご相談センター」へご相談ください

修理は…

■「マイレッツ倶楽部修理受付デスク」へ
ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電　話	（　　　）　－		
お買い上げ日	年	月	日

●海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
なお、当社では海外での修理サポートを一部の地域（アメリカ、ヨーロッパの25か国）で実施しております。本サービスを利用される場合、出国前に下記URLで詳細を確認し、事前に登録をお願いいたします。
ただし、マイレッツ倶楽部でカスタマイズを行ったモデルは、海外修理サービス対象外となります。
http://askpc.panasonic.co.jp/r/global/index.html

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『取扱説明書 基本ガイド』の「このパソコンにトラブルがあったときは」および画面で見る『困ったときのQ&A』に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、マイレッツ倶楽部修理受付デスクへご連絡ください。
本製品は、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了後にお手元までお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。

付属の『修理依頼書』に依頼内容をご記入のうえ、修理されるパソコンに添付してください。
『修理依頼書』がない場合はお買い上げ日と次の内容をご連絡ください。

- ●製品名　パーソナルコンピューター
- ●品　番　CF-
- ●故障の内容（できるだけ具体的に）
- ●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去状況
- ●ハードディスクの初期化への同意
- ●有償修理のお客さまへ（無料修理のお客さまは不要です）：修理限度額の有無
- ●WiMAX搭載モデルをお使いのお客さまへ：WiMAXのご契約状況とWiMAX通信サービス提供会社さまへの連絡状況

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってマイレッツ倶楽部修理受付デスクが修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、マイレッツ倶楽部修理受付デスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。**
保証期間：お買い上げ日から本体1年間［ただし、バッテリーパックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。］

保証とアフターサービス（よくお読みください）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
送　料	修理品を引き取り、お届けする費用 引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後６年保有しています。

お問い合わせの際は、機種品番をお伝えください

機種品番は本体底面（Panasonicロゴマークの近く）に記載されています。

下の欄にあらかじめ控えておくと便利です。

C	F	–								

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使い方・お手入れなどのご相談および修理に関するご相談は……………………

マイレッツ倶楽部カスタマーデスク

E-mail　rakuten@panasonic.jp

営業時間　10:00～18:00

（土日祝日および年末年始、お盆休みを除く）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

（2011年10月1日現在）

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パソコンを廃棄または譲渡するときには、パソコン内に記録されているお客さまの重要なデータが流出するというトラブルを回避するために、必ずデータ消去を行ってください。データ消去の手順については、『取扱説明書 基本ガイド』の「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。

本機を廃棄・譲渡する際のデータの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。

●パナソニックのWebページ
（http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/data_delete_home.html）

●パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））

家庭用パソコンのリサイクルについて

使用済みになったパソコンを廃棄するときは、下記 Webページをご覧ください。
http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/home.html

消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	• お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 • 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ LCD（液晶ディスプレイ） キーボード ACアダプター リチウム電池 ファン スーパーマルチドライブ	• 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 • 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間 /1 日、250日 /1 年の使用で約 5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！ エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、
CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

●使い方・お手入れなどのご相談および修理に関するご相談は…

マイレッツ倶楽部カスタマーデスク

E-mail rakuten@panasonic.jp

営業時間 10:00〜18:00
（土日祝日および年末年始、お盆休みを除く）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

・有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS1011-1111
DFQW1353ZB

Printed in Japan